■区民と議会をむすぶ情報紙

平成23年第4回定例会・新年合併号
（会期：第4回定例会11月30日～12月9日）

新宿区議会だより

発行：新宿区議会
☎（3209）1111（代表）〒160-8484　新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
ホームページアドレス：http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html

No. 253
平成24年（2012年）1月1日発行

今号の主な内容

●区議会各会派
新年のあいさつ……2～3面
●第4回定例会
議案の概要と審議結果……4面
●平成23年度上半期　政務調査費と議長交際費の支出状況……4面
●区政のここを問う！
定例会での代表・一般質問……5～7面
●委員会の活動状況……8面
●請願・陳情の審査結果……8面

新宿御苑　日本庭園

新年のごあいさつ

新宿区議会議長　宮坂　俊文

あけましておめでとうございます。区民の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、3月11日の東日本大震災と原発事故という未曾有の災害に見舞われ、多くの国民にとって生涯忘れ得ぬ年となりました。

国を挙げての対応にも関わらず、復旧・復興は未だ道半ばですが、区議会としても復興を支援するとともに、本区における帰宅困難者対策をはじめ、首都直下地震への備えに全力を注いで参ります。

さて、区議会は、昨年4月の選挙で38名の議員が新たに選出され、この間、福祉、教育、環境、まちづくり等の課題や防災対策、議会改革、自治分権等の推進に取り組んできました。

ギリシャの財政危機やタイの水害が、我が国の地域経済にまで影響を及ぼすグローバル化した時代とはいえ、区民生活にとって地域のことは地域で解決するという地方自治の大切さは変わりません。

これを踏まえて、本年も区民の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、引き続き開かれた議会運営に鋭意取り組む所存でございます。

年頭にあたり、新宿区の一層の発展と区民の皆様のご多幸を心より祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

トップニュース

第4回定例会で可決した議案

今定例会では、区長提出議案と議員提出議案あわせて45件が可決されました。

○名誉区民として、草間彌生氏（前衛芸術家、小説家）、室瀬和美氏（漆芸家）を選定。

○新たに「おちごなかい子ども園」を設置。（平成24年4月1日開設）
中井保育園（中井1-8-12）と落合第五幼稚園（上落合3-1-6）を統合、両園舎を活用する分園方式

○平成23年度一般会計補正予算（第4号）　4億6,726万6千円

・（仮称）NPOふれあいひろばの改修工事費（西戸山第二中学校統合後施設活用）	1億725万5千円
・知的障害者グループホーム・ケアホーム建設費助成	312万5千円
・重度視覚障害者への移動支援及びケアホーム入居者への居住に要する費用助成	1億187万4千円
・（仮称）高田馬場四丁目子ども園等の改修工事費（西戸山第二中学校統合後施設活用）	1億9,067万5千円
・区民健康センターの移転整備（診療所等→旧戸山中学校、事務所等→教育センター内）	2,970万2千円
・（仮称）新宿保健センター等健康推進施設の設計等	1,466万2千円

など……関連記事4面

今定例会で議決した意見書（要旨）

意見書の全文は、区議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局までご連絡ください。

防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書

防災会議に女性委員を積極的に登用するため、中央防災会議における3割以上を女性委員とする環境整備や、都道府県知事や市区町村長の裁量で地方防災会議に有識者枠を設けることを可能とする災害対策基本法の改正を速やかに行うよう国会及び政府に強く求めました。

緊急被ばく医療体制の確保に関する意見書

緊急被ばく医療体制の見直しを行うとともに、すべての都道府県に放射線物質の量を体外から測定する装置であるホールボディカウンター等、必要な診療資器材を整備するよう国会及び政府に強く求めました。

都区財政調整制度に関する意見書

都区財政調整について、様々な区の実態を十分に踏まえて、都区協議に臨むよう都に強く要請しました。

新宿御苑　玉藻池

新年を迎えて

東日本大震災で被災された皆様に 心からお見舞い申し上げます
新宿区議会議員一同 皆様と共に 復興に向けて全力で取り組んでまいります

◆議長 宮坂 俊文
◆副議長 赤羽つや子

各会派あいさつ

「住み続けたいまち新宿」の実現を目指します
自由民主党新宿区議会議員団

下村 治生 3期
〒160-0021 歌舞伎町1-23-13 (3200) 7181

深沢としさだ 3期
〒161-0032 中落合1-6-13 ニューハイツ中落合405 (5983) 3322

宮坂 俊文 5期
〒161-0031 西落合1-25-15-301 (3951) 9848

副幹事長 吉住 はるお 2期
〒162-0838 細工町1-8 ヴィラK2 302 (3260) 3104

幹事長 ひやま 真一 2期
〒169-0075 高田馬場3-23-1 YSKビル601 (3366) 3575

桑原 羊平 1期
〒160-0023 西新宿8-1-8 (3366) 0071

池田だいすけ 1期
〒169-0074 北新宿4-23-8 ファミーユ北原401 (6279) 1838

佐原 たけし 3期
〒169-0051 西早稲田1-18-15 ヴェラハイツ早稲田404 (3207) 5271

おぐら 利彦 3期
〒160-0004 四谷1-3 (3353) 9000

会議員団は、「住み続けたいまち新宿」の実現に全力を尽くす決意であります。

皆様にとりまして、本年が幸多き一年でありますよう、お祈りいたします。

皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

景気は、先行き不透明であり、引き続き、予断を許さない状況にあると考えています。

このような中、新宿区も厳しい財政運営を強いられるものと危惧しておりますが、更なる行財政改革に取り組み、区民生活を支えるため、中小企業の経営の安定化、高齢者・障害者・子育て家庭の支援、災害に強い安全・安心なまちづくり、学校教育の充実など、区民生活にとって必要な事業が、的確に実施されるよう、しっかりと取り組んでまいります。

私たち自由民主党新宿区議

区民視点・現場視点で区政の課題に全力で取り組んでまいります
新宿区議会公明党

中村しんいち 2期
〒169-0072 大久保2-20-502 (3202) 1474

赤羽 つや子 4期
〒161-0032 中落合1-21-3 (3366) 0164

小松 政子 4期
〒162-0824 揚場町 2-12-208 (3267) 5113

副幹事長 鈴木 ゆきえ 4期
〒160-0022 新宿1-6-8 (3354) 2730

幹事長 有馬としろう 3期
〒161-0032 中落合2-12-26 グランスイート中落合101 (3952) 8354

井下田 栄一 1期
〒160-0012 南元町4-17-512 (6380) 5633

北島 敏昭 1期
〒169-0074 北新宿1-13-3 (3361) 5315

豊島 あつし 1期
〒162-0041 早稲田鶴巻町537 メゾン三晃302 (3232) 5483

野もとあきとし 2期
〒169-0073 百人町3-22-12-102 (3368) 5035

新年明けましておめでとうございます。

現在の区政をとりまく環境には様々な課題があります。中でも財政については、景気低迷による税収減や社会保障支出の増大、更には昨年3月11日に発生した東日本大震災の影響や円高の長期化などにより、予断を許さない状況にあります。その中で、拡大する行政需要に対しては、より一層の効果的、効率的な取り組みが必要であり、更なる行財政改革が重要であります。

新宿区議会公明党は、行政サービスの低下を招かないよう将来を見据えた財政の持続性を目指すとともに、震災対策をはじめとする区政の緊急課題にはスピード感をもって的確に対応し、常に区民視点、現場視点で政策を提案してまいります。

大震災・原発事故の教訓を活かし 安心して暮らせる新宿に全力をあげます
日本共産党新宿区議会議員団

副幹事長・政調会長 川村のりあき 3期
〒161-0031 西落合1-32-18 090 (9330) 9004

副団長 阿部 早苗 4期
〒160-0022 新宿7-16-13 (3202) 8622

幹事長 近藤 なつ子 5期
〒162-0052 戸山1-16-16-310 090 (4849) 3227

団長 沢田 あゆみ 5期
〒169-0051 西早稲田2-19-1 共美ビル101 (3204) 4491

佐藤 佳一 1期
〒169-0074 北新宿1-6-16 朝日クレスパリオ北新宿602 (5330) 5091

あざみ 民栄 4期
〒162-0062 市谷加賀町2-6-1 D-302 (3260) 1456

田中のりひで 6期
〒161-0034 上落合1-1-15-302 (3362) 6326

雨宮 武彦 6期
〒160-0017 左門町12 ライジングプラザ5A (3341) 0634

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、東日本大震災と東電福島原発の事故という未曾有の災害を経験しました。私たち区議団は3度にわたり被災地支援のボランティアに行きました。区民が安心して暮らせるよう、防災対策と放射能汚染対策、自然エネルギー普及促進の強化は急務です。同時に、リーマンショック以降、更に震災の影響で不況が深刻さを増しているもとで、区民のくらしと営業を支える区政が求められています。

介護や子育ての支援も引き続き区政の最重要課題です。特養老人ホームの増設、区立幼稚園・保育園の廃園計画をやめさせ、認可保育園の増設で待機児童を解消するなど、より良い子育て環境を作るため、全力をあげる決意です。

今こそ心ひとつに 総力を結集するとき
民主・無所属クラブ

副幹事長 平間 しのぶ 2期
〒169-0073 百人町2-5-1-204 (3365) 0103

幹事長 志田 雄一郎 4期
〒160-0007 荒木町10-17-203 (3355) 0546

鈴木 ひろみ 1期
〒162-0041 早稲田鶴巻町521 グリーンステージ早大通り406 (3209) 1635

久保 広介 1期
〒162-0825 神楽坂6-16 (3260) 0669

明けましておめでとうございます。

昨年は、国内では東日本大震災や、いくつもの台風の上陸、国外ではニュージーランドでの地震や、タイでの大雨による大洪水などが発生し、国内外ともに「災害に明け暮れた一年」でありました。

とりわけ東日本大震災がもたらした多くの影響を振り返った時、首都直下地震等、大規模地震の発生確率が高まる中で、震災対策などをはじめとする施策の見直しを早急に行わなくてはなりません。

「国民の生命と財産を守る」という政治に課せられた最大の使命を果たすため、今こそ心を一つに、総力を結集して、迫りくる危機に万全の体制を築くために力を尽くしてまいります。

時代の変化に機敏に対応した 区政を実現します
みんな・無所属の会

副幹事長 のづ たけし 4期
〒161-0033 下落合3-16-15-701 (3954) 3573

幹事長 えのき 秀隆 5期
〒161-0032 中落合4-6-11 (5983) 8811

沖 ともみ 1期
〒160-0023 西新宿7-7-19-1201 (6824) 2638

日本国内のみならず世界に目を向けても「変化の激しい時代」です。まさに「昨日の常識は今日の非常識」という状況も出現し得ます。激変の中、物事に対処していくには一瞬の油断が命取りとなります。欧州発ソブリンリスクの影響が世界に伝搬し始めています。日本の国家財政も大きな転換期を迎えています。このような時は、世界の歴史を振り返り検証すること、グローバルスタンダードを意識することが大切と考えます。個人も企業も私たち新宿区も世界情勢の推移を無視できません。しっかりと状況把握、分析をしながら議会活動を進め、これまで以上に効率的・効果的な区政運営を提案し、将来への財政基盤を確保しつつ真に求められている区民福祉の拡充に努めてまいります。

くらしと生命を守る区政実現のため 区民と共に全力で取り組みます
社会新宿区議会議員団

幹事長 かわの 達男 6期
〒169-0075 高田馬場1-20-10-303 (3208) 8340

山田 啓史 1期
〒160-0015 大京町19 ルート四谷三丁目115号 (3341) 3074

私たちは決意を新たにし、「首都直下地震」に備えたまちを造ります
区民主権の会

幹事長 根本 二郎 7期
〒160-0022 新宿1-19-6-503 (3353) 8059

おのけん一郎 2期
〒162-0056 若松町28-1 シャングリラ早稲田503 (3208) 4633

一人でも出来る 一人だから出来る 花マルもらえる新宿に
新宿区議会花マルクラブ

なす 雅之 3期
〒162-0851 弁天町87-203 (5261) 8315

凡例

会派役職
氏 名
当選期数
住 所
電話番号

平成24年 第1回定例会のお知らせ

★2月20日から3月22日までの予定です。主な日程は、次のとおりです。

本会議	2月20日・23日・24日 3月22日
予算特別委員会	2月27日～3月9日
常任委員会	3月13日・14日
特別委員会	3月16日・19日

★ぜひ傍聴にいらしてください。
★手話通訳者または要約筆記者の配置もできます。事前に議会事務局までご連絡ください。(☎5273－3534)
★本会議・予算特別委員会は、「新宿区議会ホームページ」でインターネット中継(生中継・録画)を実施しています。ぜひご利用ください。

公職選挙法により、政治家は年賀状等のあいさつ状を出すことが禁じられています。

また、選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人や団体に寄附を行うことは、特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めることも禁じられています。冠婚葬祭における贈答なども寄附にあたります。

区民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

●「新宿区議会ホームページ」のアドレスは、http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html です。

議案の概要と審議結果（賛成…○、反対…×）

会派略称　自　民＝自由民主党新宿区議会議員団　公　明＝新宿区議会公明党
共　産＝日本共産党新宿区議会議員団　民無ク＝民主・無所属クラブ
み無会＝みんな・無所属の会　社　会＝社会新宿区議会議員団
主　権＝区民主権の会　花マル＝新宿区議会花マルクラブ

○平成23年第4回定例会　（11月30日～12月9日）

		議案名	概要	自民	公明	共産	民無ク	み無会	社会	主権	花マル	議決結果
区長提出議案（42件）	予算（5件）	平成23年度新宿区一般会計補正予算（第4号）	補正予算額：4億6,726万6千円、補正後予算額：1,412億2,150万8千円 補正の理由：（仮称）NPOふれあいひろばの整備に要する経費、心身障害者グループホーム建設事業助成に要する経費、障害者への自立支援給付等に要する経費、（仮称）高田馬場四丁目子ども園等の整備に要する経費、区民健康センターの移転整備に要する経費、（仮称）新宿保健センター等健康推進施設の設計等に要する経費等を計上	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成23年度新宿区国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	補正予算額：2,752万5千円、補正後予算額：350億3,297万5千円 補正の理由：国及び都支出金の収入超過に伴う返納金を計上	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成23年度新宿区一般会計補正予算（第5号）	補正予算額：△4億8,488万1千円、補正後予算額：1,407億3,662万7千円 補正の理由：報酬改定及び給与改定等に伴う減等を計上	○	○	○	○	○ 1人棄権	○	○	○	可決
		平成23年度新宿区国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	補正予算額：△2,015万6千円、補正後予算額：350億1,281万9千円 補正の理由：給与改定等に伴う減等を計上	○	○	○	○	○ 1人棄権	○	○	○	可決
		平成23年度新宿区介護保険特別会計補正予算（第2号）	補正予算額：△3,829万7千円、補正後予算額：196億3,293万8千円 補正の理由：給与改定等に伴う減等を計上	○	○	○	○	○ 1人棄権	○	○	○	可決
	条例の改正（12件）	新宿区職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	市の廃置分合により「鳩ヶ谷市」が廃され、その区域が「川口市」に編入されたことに伴い、規定を整備する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の一部の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	「障害者自立支援法」の改正に伴い、関係条例の規定を整備する。 1　「災害に際し応急措置の業務等に従事した者の損害補償に関する条例」 2　「新宿区立の小学校、中学校及び特別支援学校の非常勤の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例」 3　「新宿区立心身障害者通所訓練施設条例」 4　「新宿区立障害者福祉センター条例」 5　「新宿区立福祉作業所条例」 6　「新宿区立新宿生活実習所条例」 7　「新宿区立子育て支援施設の設置及び管理に関する条例」	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区保育所保育料徴収条例の一部を改正する条例	保育料負担の適正化を図るため、保育料に係る最上位の階層の区分について改めるとともに、所得税等の年少扶養控除の廃止等により保育料の額への影響が生じないようにする等所要の改正を行う。	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
		新宿区立子ども園条例等の一部を改正する条例	1　「中井保育園」と「落合第五幼稚園」を統合し、新たに「おちごなかい子ども園」を設置する。（上落合3-1-6） 2　「柏木子ども園」新園舎の完成に伴い、位置に係る規定を整備する。 3　保育料負担の適正化を図るため、保育料に係る最上位の階層の区分について改めるとともに、所得税等の年少扶養控除の廃止等により保育料の額への影響が生じないようにする等所要の改正を行う。	○	○	×	○	○	○	○	×	可決
		新宿区景観まちづくり条例の一部を改正する条例	「景観法」の改正に伴い、規定を整備する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	特別区人事委員会の勧告を受け、職員の給与を改定するほか、「地方公務員法」の改正に伴い、規定を整備する。	○	○	○	○	○ 1人棄権	○	○	○	可決
		新宿区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	特別区人事委員会の勧告を受け、幼稚園教育職員の給与を改定する。	○	○	○	○	○ 1人棄権	○	○	○	可決
		新宿区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	新宿区議会議員の議員報酬の月額を改定する。	○	○	○	○	○ 1人棄権	○	○	○	可決
		新宿区長及び副区長の給料等及び旅費条例の一部を改正する条例	区長及び副区長の給料の月額を改定する。	○	○	○	○	○ 1人棄権	○	○	○	可決
		新宿区監査委員の給料等に関する条例の一部を改正する条例	新宿区監査委員の給料及び報酬の月額を改定する。	○	○	○	○	○ 1人棄権	○	○	○	可決
		新宿区教育委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	新宿区教育委員会の委員の報酬の月額を改定するほか、規定を整備する。	○	○	○	○	○ 1人棄権	○	○	○	可決
		新宿区教育委員会教育長の給料等及び勤務等に関する条例の一部を改正する条例	新宿区教育委員会教育長の給料の月額を改定する。	○	○	○	○	○ 1人棄権	○	○	○	可決
	その他（20件）	（仮称）四谷保健福祉施設・清掃センター等建設建築工事請負契約	「（仮称）四谷保健福祉施設・清掃センター等建設建築工事」を施行する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		（仮称）四谷保健福祉施設・清掃センター等建設電気設備工事請負契約	「（仮称）四谷保健福祉施設・清掃センター等建設電気設備工事」を施行する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		（仮称）四谷保健福祉施設・清掃センター等建設空調換気設備工事請負契約	「（仮称）四谷保健福祉施設・清掃センター等建設空調換気設備工事」を施行する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		（仮称）新宿区立新宿リサイクル活動センター等建設建築工事請負契約	「（仮称）新宿区立新宿リサイクル活動センター等建設建築工事」を施行する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		特別区道の路線の認定について	起点：下落合二丁目294番6地先、　終点：下落合二丁目310番27地先	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		特別区道の路線の認定について	起点：中落合四丁目1370番21地先、　終点：中落合四丁目1370番7地先	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		特別区道の路線の認定について	起点：下宮比町2番8地先、　終点：下宮比町6番1地先	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		公の施設の指定管理者の指定について	四谷地域センター（内藤町87）　…四谷地域センター運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			牛込箪笥地域センター（箪笥町15）　…牛込箪笥地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			榎町地域センター（早稲田町85）　…榎町地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			若松地域センター（若松町12-6）　…若松地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			大久保地域センター（大久保2-12-7）　…大久保地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			戸塚地域センター（高田馬場2-18-1）　…戸塚地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			落合第一地域センター（下落合4-6-7）　…落合第一地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			落合第二地域センター（中落合4-17-13）　…落合第二地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			柏木地域センター（北新宿2-3-7）　…柏木地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			角筈地域センター（西新宿4-33-7）　…角筈地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			百人町地域交流館（百人町2-18-21） 百人町児童館　（百人町2-18-21）　…テンプスタッフ・ウィッシュ株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			元気館（戸山3-18-1）　…株式会社東京アスレティッククラブ	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			区民ギャラリー（西新宿2-11-4） 環境学習情報センター（西新宿2-11-4）　…特定非営利活動法人新宿環境活動ネット	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	人事の同意（4件）	新宿区教育委員会委員任命の同意について	松尾厚氏	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
		新宿区監査委員選任の同意について	猿橋敏雄氏	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
		新宿区名誉区民選定の同意について	草間彌生氏、室瀬和美氏	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	諮問	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見の聴取について	中村雅氏	○	○	○	○	○	○	○	○	決定
議員提出議案	意見書	防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書	1面の「意見書（要旨）」をご覧ください。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		緊急被ばく医療体制の確保に関する意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		都区財政調整制度に関する意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成23年度上半期　政務調査費の収支報告

政務調査費収支一覧〔平成23年4月分　16期〕

単位（円）

会派名（人数）	収入	支出						支出合計
		調査研究費	研修費	会議費	資料費	広報費	事務費	人件費	
新宿区議会公明党（9）	1,350,000	0	0	0	2,120	0	27,300	0	29,420
自由民主党新宿区議会議員団（8）	1,200,000	66,748	0	0	39,992	425,250	68,221	290,000	890,211
日本共産党新宿区議会議員団（7）	1,050,000	1,180	0	0	16,695	213,376	62,708	0	293,959
民主党新宿区議会議員団（6）	900,000	0	0	0	0	787,882	94,500	17,618	900,000
新宿区議会無所属クラブ（3）	450,000	0	0	0	0	448,853	1,147	0	450,000
社会新宿区議会議員団（2）	300,000	0	0	0	0	293,762	6,238	0	300,000
新宿区議会花マルクラブ（1）	150,000	0	0	0	2,500	132,605	0	10,000	145,105
合計	5,400,000	67,928	0	0	61,307	2,301,728	260,114	317,618	3,008,695

政務調査費収支一覧〔平成23年5月～9月分　17期〕

単位（円）

会派名（人数）	収入	支出						支出合計
		調査研究費	研修費	会議費	資料費	広報費	事務費	人件費	
自由民主党新宿区議会議員団（9）	6,750,000	702,837	16,000	0	376,089	1,350,962	1,000,091	1,675,000	5,120,979
新宿区議会公明党（9）	6,750,000	514,023	279,540	0	658,273	1,797,880	1,233,422	0	4,483,138
日本共産党新宿区議会議員団（8）	6,000,000	136,720	1,237,429	5,985	276,619	3,270,202	1,057,986	188,840	6,173,781
民主・無所属クラブ（4）	3,000,000	107,028	0	3,084	2,335	1,615,248	273,685	840,000	2,841,380
みんな・無所属の会（3）	2,250,000	91,570	0	0	0	1,402,725	208,836	0	1,703,131
社会新宿区議会議員団（2）	1,500,000	76,925	0	0	49,095	673,600	283,465	0	1,083,085
区民主権の会（2）	1,500,000	164,099	10,000	0	15,700	312,375	196,143	250,000	948,317
新宿区議会花マルクラブ（1）	750,000	11,525	128,898	0	9,200	194,695	266,110	20,000	630,428
合計	28,500,000	1,804,727	1,671,867	9,069	1,387,311	10,617,687	4,519,738	2,973,840	22,984,239

◎収入‥‥月額15万円に会派の人数を乗じた金額です。（交付された政務調査費に残額が生じた場合は、区に返還します。）

● 政務調査費とは

地方自治法に基づき「新宿区政務調査費の交付に関する条例」を定めて、議員（会派）の調査研究に必要な経費の一部として会派に交付する交付金のことです。
平成23年4月の改選により5月から会派構成が変わったため、4月分（16期）と5～9月分（17期）に分けて掲載しました。

● 政務調査費は、次の使途に用いることはできません。

1　政党活動、後援会活動、選挙運動、あるいは個人の利益のために要する経費としての支出。
2　日当（1日あたりの決まった手当て）としての支出。
3　寄付金、賛助会費等、公職選挙法に抵触するものへの支出。
4　交際費に要する経費への支出。（結婚式の祝い金、香料、見舞金等）

政務調査費支出項目の説明

- 調査研究費　区の事務及び地方行財政に関する調査研究及び調査委託に要する経費
- 研修費　研修会及び講演会の実施に必要な経費並びに他団体が開催する研修会、講演会等への所属議員及び会派の雇用する職員の参加に要する経費
- 会議費　調査研究のための各種会議に要する経費
- 資料費　調査研究に必要な資料の作成及び図書、資料等の購入に要する経費
- 広報費　議会活動及び区政に関する政策等の広報活動に要する経費
- 事務費　調査研究に係る事務遂行に必要な経費
- 人件費　調査研究を補助する職員を雇用する経費

平成23年度上半期　議長交際費支出状況〔平成23年4月～9月分〕

● 議長交際費とは

円滑な議会運営を図るため、議長が区議会を代表して出席する各種行事や接遇・儀礼など交際上必要な経費です。

● 毎月の執行額については

月ごとの集計額を翌月に区議会ホームページで公表しています。平成20年4月分以降をご覧いただけます。

単位（円）

支出項目／支出先	会費		見舞い		弔慰		接遇		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
町会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域団体	2	11,000	0	0	0	0	0	0	2	11,000
商店会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
各種関係団体	4	42,000	0	0	0	0	0	0	4	42,000
その他	0	0	0	0	2	20,000	0	0	2	20,000
合計	6	53,000	0	0	2	20,000	0	0	8	73,000

他都市からの視察（平成23年7月～12月）

新宿区には、全国の自治体の議会（委員会・会派・議員）が施策調査のため視察に訪れています。

視察日	議会名	調査内容
8月2日	愛知県名古屋市会	放置自転車対策
8月3日	広島県福山市議会	政治倫理条例
8月12日	大阪府高槻市議会	あいじつ子ども園
8月17日	埼玉県鶴ヶ島市議会	介護支援ボランティア・ポイント制度
8月25日	大阪府吹田市議会	防災計画
10月11日	愛知県豊川市議会	四谷子ども園
10月25日	神奈川県大和市議会	・教育広報紙の発行 ・いじめ相談専用電話「新宿子どもほっとライン」 ・英語教育「中学校の英語による発表会」
10月26日	大阪府泉佐野市議会	あいじつ子ども園
10月26日	栃木県宇都宮市議会	介護支援ボランティア・ポイント制度
10月27日	愛知県春日井市議会	学校適正配置
10月28日	静岡県静岡市議会	四谷子ども園
11月4日	埼玉県越谷市議会	入札・契約制度
11月16日	兵庫県神戸市会	地域ねこ対策（人と猫との調和のとれたまちづくり）

区政のここを問う

第二次実行計画について

日本共産党新宿区議会議員団 代表質問

川村のりあき

質問 ①計画策定にあたり、自治基本条例の趣旨である区民の区政情報を知る権利と区政参加の権利を保障するために、努力や改善した点は。②計画決定前にパブリックコメントや区民討議会での意見と区の見解を公表し、区民から意見を求めるべき。③(ア)区民税が大きく落込み、基金や区債で賄う方針の中、財政収支見通しは。(イ)区民生活を支えることを重点に予算配分すべき。

答弁 ①行政評価を例年より早め、外部評価委員会の意見を素案に反映し、区民討議会を実施。②パブリックコメントや地域説明会、区民討議会での意見を考慮した区の考え方を詰めている。決定した内容、寄せられた意見、意見に対する区の考え方を公表する。③(ア)徹底した行財政改革に取り組み、基金残高の減少を抑制し、区債現在高を下回らないよう努める。(イ)介護保険・障害者福祉サービスの基盤整備や保育園待機児童解消対策、生保受給者の自立支援等に取り組み、震災対策等の緊急課題に対応した予算の重点化を図る。

子ども園について

質問 ①子ども園化推進の基本方針について、全園で保護者や地域の方を含めた説明会を開催し意見を聞くべき。②子ども園化に伴う職員の増員や十分な保育スペースを確保すべき。③現場に困難を押し付けるような民営化はすべきではない。

答弁 ①保育・幼稚園、地域の町会・育成会等に説明。様々な機会を通じて意見を伺う。②基準に従い必要人数を配置。1人あたり基準面積は確保。③十分な経験・実績を持つ社会福祉法人・学校法人・株式会社を公募し、指針等に基づく保育・教育内容、面積・人員配置基準等により選定することで、質の高い保育が可能。指導検査基準による指導・監督をする。

高齢者・低所得者の住宅確保策等について

質問 大久保一丁目のアパート火災で被災した入居者の多くが生活保護受給者だったことから、災害を教訓とした区の対策が求められている。①老朽化共同住宅の高齢者が住みやすくなるようなリフォームへの支援を。②家賃債務保証制度の保証会社の数を増やし、対象者を低所得者にも広げ、助成期間も延長すべき。③公営住宅の増設と家賃助成を。

高齢者や低所得者に住宅支援を

答弁 ①賃貸住宅所有者・一定の機能低下の高齢入居者に、融資や助成等を実施しており、老朽化共同住宅への支援は実施する考えはない。②高齢者世帯の入居支援事業の改善を行い、助成対象者の年齢を引き下げることで対象拡大を検討。③公営住宅の戸数割合は、特別区で上位にあることから、増設は行わず既存ストックを有効活用。

この他に、「放射能汚染から子どもと区民を守る対策」「学童クラブの全所民間委託化」「学校図書館司書の全校配置」「防災対策」について質問がありました。

災害への対応のさらなる強化を

民主・無所属クラブ 代表質問

志田雄一郎

質問 新宿区の帰宅困難者は駅周辺の滞留者67万人、帰宅困難者は35万人と想定され、事業者、地域、行政が一体となった取組みが必要である。①帰宅困難者の一時滞在施設として、民間施設の活用の現状は。②区内事業者に対し、一斉帰宅の抑制をどう働きかけるのか。③帰宅困難者への正確な情報提供の体制整備について、区と新宿駅周辺防災対策協議会との話し合いは。

帰宅困難者に迅速で正確な情報提供を！

答弁 ①新宿ホテル旅館組合や区内大学と施設利用に関する協定の締結の準備を進めている。②東京商工会議所新宿支部等を通じ、基本方針や「新宿ルール」の周知を図る。③防災用屋外スピーカーの設置や区HPをはじめ、様々な手段を活用して情報提供を行う体制整備を進めていく。

児童虐待防止対策の充実を

質問 児童虐待の相談件数が急増している。①児童虐待に対応するには、より専門的な知識を備えた職員が今後も必要。人材育成への取組みは。②児童相談所の都から区への移管について、区の見解と進捗状況は。

答弁 ①東京都児童相談センターへの研修派遣や児童相談所の短期受入れ研修等により、対応技術や資質の向上に努めていく。②できるだけ早く移管に向けての本格的な協議を始めていく。

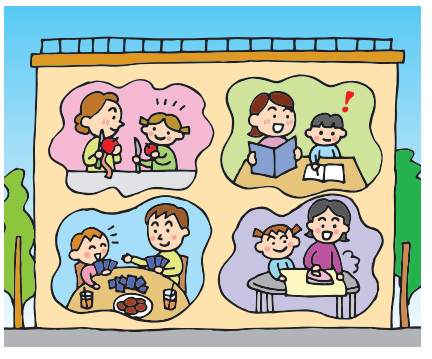
この他に、「安全・安心なまちづくり」について質問がありました。

生活保護行政について

みんな・無所属の会 代表質問

沖 ともみ

質問 埼玉県の「生活保護受給者チャレンジ支援事業」を参考に自立支援による受給者減を。①第二次実行計画の「NPO等との連携による就労支援の推進」では、支援員が訪問を重ねる等、積極的なアプローチで個々の適性に応じた職業訓練から再就職までのサポートをすべき。②貧困の連鎖を断ち、未来への投資として「新宿らいふさぽーとプラン」を更に発展させる為、受給世帯の小・中学生全員を対象とする等6点の改善点を提案。



新宿らいふさぽーとプラン

答弁 ①24年度に同様の手法で実施予定。②提案のあった事項等について24年度に具体的な検討を行う。

区長マニフェストに基づく一般的な事業仕分けの実施を

社会新宿区議会議員団 代表質問

山田 啓史

質問 区長は区民討議会方式による事業判定を新宿版事業仕分けとしているが、マニフェストによる事業の棚おろし、事業仕分けとは意味的に大きく乖離（かいり）している。①説明責任を果たすべきだが、「説明責任を果たす」ことをどう定義しているか。②事業の棚おろしは実施された事業に対するものではないか。③マニフェストと意味的に一致する一般的な事業仕分けを実施すべき。

一般的な事業仕分けを実施すべき

答弁 ①区民が知りたいことなどを行政がきちんと説明すること。②行政評価のチェック機能を活用し、事業の見直しを図る。③実施する考えはない。

大久保小学校児童のふるさと作りの活動支援について

区民主権の会 代表質問

根本 二郎

質問 ①大久保小の児童は、「大久保つつじ」や「内藤とうがらし」の育成、普及に励んでいる。

会派略称 自＝民＝自由民主党新宿区議会議員団 公＝明＝新宿区議会公明党 共＝産＝日本共産党新宿区議会議員団 民無ク＝民主・無所属クラブ
み無会＝みんな・無所属の会 社＝会＝社会新宿区議会議員団 主＝権＝区民主権の会 花マル＝新宿区議会花マルクラブ

これらを「地域文化財」として認定を。②教育委員会は、この児童のふるさと作りの活動をどのように支援しているか。また、特色ある学校作りをどう広めていくのか。

答弁 ①文化財保護審議会の意見聴取や資料等から検証が必要。直ちに認定は難しいが必要な調査を進める。②体験活動は大切な取組み、学校と地域の連携について支援する。学校HPやネットワークを活用し、特色ある学校作りを広める。

“大久保つつじ”「地域文化財」として認定を!

区財政の状況について

自由民主党新宿区議会議員団　代表質問

桑原　羊平

質問 新宿区財政白書から見た数字の多くは、現在も今後も厳しい財政運営が迫られることを示している。区財政の現状と今後の見通しについての所見は。

答弁 基金残高の減少や財政構造の硬直化が進んでいる。今後、より厳しい状態が続くものと考えている。徹底した行財政改革に取り組む。

平成24年度予算編成について

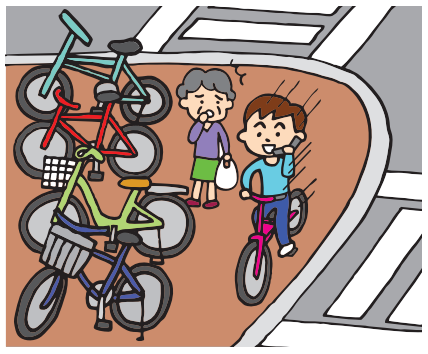
質問 ①財政調整基金と区債との活用割合に大きな差が生じている要因と基金の運用は。②休日窓口開設の本格実施に向けた検証は。③(ア)受益者負担のあり方の見直しへの取組みは。(イ)「保育料見直しの考え方」の説明会での区民の反応は。④(ア)一人暮らしの高齢者を支える事業とは。(イ)高齢者の社会の担い手としての自信を深め、社会参加への意欲を後押しする事業を。⑤元気館事業が二世代、三世代の交流の機会になる。民間の類似施設との違い・特徴は。⑥震災対策は、二次災害を防ぐことが重要。建築物等耐震化支援事業の情報提供の充実を。

答弁 ①区債の発行は、将来の歳出予算に影響を与えることから、基金での対応を基本としている。残高確保・繰入金の圧縮に努めて的確に運用する。②繁忙期の実績に近い需要がある。試行状況の結果を検証し、本格実施に向けて検討する。③(ア)歳入確保と公平性の両面を活かすことが重要。第二次実行計画に合わせ受益者負担の適正化・サービスのあり方等を見直す。(イ)区の考え方に一定の理解を得ることができたと考えている。受益と負担の公平性を確保し、保育サービスの充実に取り組む。④(ア)「ぬくもりだより」訪問配布事業や地域見守り協力員事業等を引き続き推進。気軽に交流や相談のできる場を支援する事業の実践を活かし、都営住宅等で計画的に進める。(イ)シニア活動館や地域交流館が高齢者の活動の場になっている。今後も環境づくりに取り組む。⑤民間施設は体力づくりやスポーツの継続を主眼とし、元気館は健康づくりを目的とした子どもから高齢者まで各世代が利用しやすい事業を行い、ふれ合いの場となっている。⑥耐震化モデル事業を総合危険度4の地域等に拡大し、区民に直接働きかけて確実な情報提供を行う。耐震改修工事の補助要件も検討している。

自転車等のマナー喚起について

質問 ①自転車事故の増加に対し、ルールやマナーの喚起や損害保険の啓発を。②「歩道を走る自転車」「放置自転車」「路上喫煙禁止」は、ルール・マナーの問題として一元化してはどうか。③学校での交通安全教育の充実を。

答弁 ①自転車整理指導員による声かけやパンフレットの配布等により啓発。警察と連携して安全利用の推進に取り組む。自転車の賠償責任保険等への加入の必要性を広く周知する。②24年度試験的に一元化して委託を考えている。③保護者・地域や関係機関と連携して、指導の充実を図っている。


一歩間違えれば自転車も走る凶器

放射線量等の測定と除染について

新宿区議会公明党　代表質問

井下田栄一

質問 放射性物質への対応として、①今後の取組みは。②区民への測定器の貸出予約は12月末までいっぱいになっている。台数を増やすべき。③国は、追加被ばく線量が年間1ミリシーベルト以上、空間線量率毎時0.23マイクロシーベルト以上を除染対象とする方針を示した。除染に対する準備は。

答弁 ①区内2か所での定期測定で空間放射線量の推移を見守るとともに、保育・幼稚園、小・中学校、公園等の区有施設で、高い放射線量が想定される雨水が集まる所等を測定する。市場に流通している食品は安全であると認識しているが、消費者庁の測定器を借り受け、流通食品や給食食材の検査方法等を検討する。②3台の貸出しを行っているが、台数を増やし充実を図る。③国の基準以上の場合に必要な措置を講じる。

貸出し用放射線量測定器の台数の増加を

障がい者の福祉的就労支援について

質問 障がい者への働く機会とそのための教育・職業訓練・技術習得の機会の提供は、すべての人が誇りを持って生きられる社会実現のため、政治が取り組むべき大事な課題。①福祉作業所の整備や質を向上させた新しい就労の検討を。②ITを活用した能力開発や技術支援で収益性のある一般就労に繋げられるような取組みを。

答弁 ①支援プログラムやメニューの工夫等で多くの利用者が一般就労を目指せるよう質的向上に努める。②区内には雇用契約に基づく就労を支援する就労継続支援A型の施設はない。福祉的就労中心の福祉作業所にも能力開発や技術向上に努め、一般就労を目指せる環境整備が重要。第三期障害者福祉計画策定の中で、就労継続支援A型の機能確保とIT活用の議論を進める。

アレルギー対策※エピペンについて

質問 食物アレルギー等によるアナフィラキシーショックは、呼吸困難、意識障害等を伴い、重篤な場合は死に至ることもあり、30分以内にエピペンを打てるかどうかで生死を分ける場合がある。①教職員への注射の使い方やアレルギーに関する情報共有の徹底を。②乳幼児健診や保育園等で研修会も実施すべき。

答弁 ①エピペン持参の児童・生徒の在籍校だけでなく、全学校教職員にもガイドラインを周知徹底し、研修会への参加を促す。②ぜん息やアレルギー相談等でエピペンの情報を提供する。保育園では、保護者との詳細な手順確認と研修が更に必要。

この他に、「多様な保育環境の整備」「健康施策」「節電と省エネ対策」「中井駅周辺の整備推進」「区立幼稚園のあり方の見直し」について質問がありました。

議員報酬削減で区民の声を聞け

新宿区議会花マルクラブ　代表質問

なす　雅之

質問 名古屋市では、議員報酬を年額800万円に削減した。新宿区議会の議員報酬は、年収1,000万円を超えている。①議員報酬削減について、区民討議会を開催すべきでは。②議員報酬削減について、区民アンケートを実施せよ。

答弁 ①特別職報酬等審議会は、区民公募委員2名を含め、町会等各団体の代表者で構成しているため、区民討議会の開催は考えていない。②同様に区民アンケートの実施も考えていない。

この他に、「保育園・学童クラブの民営化」について質問がありました。

議員報酬削減について、区民討議会を!

※【エピペン】食物・薬物などによる急性アレルギー反応「アナフィラキシーショック」の症状を緩和するため自分で注射する補助治療剤。携帯でき、迅速に使えるようサインペン型の緊急注射用キットになっている。平成23年9月22日から公的医療保険適用が承認された。

一般質問

共産 雨宮武彦

新宿区健康づくり行動計画とがん検診の受診率向上を

質問 ①全世帯への検診申込書の郵送による実態把握や未受診者の戸別訪問での受診勧奨で受診率の向上を。②働き盛りの年代に、がん検診の無料クーポン券を配布し受診率向上を。

答弁 ①様々な方法で実態把握に努める。地域特性から戸別訪問は考えていない。②乳がん・子宮がん・大腸がんは配布。対象拡大は考えていない。

民無ク 鈴木ひろみ

都立戸山公園の整備計画について

質問 都立戸山公園整備計画で総合運動場をつくる提案から14年も経過している。①区民ニーズの変化を今後、どう整備に生かすのか。②都が整備を行う際でも、区民が優先的に利用できるように都に強く要望すべき。

答弁 ①区民ニーズを反映したあり方を検討。利用団体の意見等も伺う機会を設ける。②都に整備の早期実現と区民がより利用しやすい施設となるよう要望。

み無会 のづ たけし

電力の一般競争入札について

質問 区民の税金を有効に活用するため、値上げが懸念される電気料金を削減する手段として、一般競争入札で、廉価な電力の購入を図ることはできないか。

答弁 23区清掃工場の余剰電力の活用を順次拡大したい。電力の需給バランスを計画的に計ることがコスト削減につながる。震災後の節電対策に伴う需要電力量を検証した上で、今後、導入等について検討したい。

社会 かわの達男

こころの健康で自殺を防ごう

質問 こころの病から自殺に至るケースがある。①日本では年間3万人以上が自殺しており、先進34カ国では3番目に高率。区の傾向は。②こころの健康づくりでは、(ア)若者や現役世代のストレスを防ぐことも重要では。(イ)高齢者の健康づくりの所見は。

答弁 ①男女とも若年層が多い。②(ア)メンタルヘルス事業を実施。産業保健分野や就労支援機関等との連携を強化する。(イ)高齢者の特性に合わせて取り組む。

主権 おのけん一郎

震災を教訓とした防火・災害教育と食育

質問 ①現実に即した防火・災害教育の展望は。②学校給食について(ア)他区の「食の安全」への取組みについて。(イ)完全米飯・国産食材については。(ウ)食材の産地等の情報開示を通して食育を。

答弁 ①様々な想定での体験的・実践的な避難訓練を指導。②(ア)検査方法等の検討の際、参考とする。(イ)米飯給食に努め、安全な国産食材の使用を指導。(ウ)授業に取り入れ推進。

自民 ひやま真一

中小企業の産業振興施策

質問 ①「商店街消費拡大推進事業」の改善を。②早稲田古書店街連合会へも多面的な支援を。③「高田馬場創業支援センター」利用者の業種は。④区内中小企業景況調査の課題は。

答弁 ①より効果的な支援となるよう検討。②同業組合等の取組みへの効果的支援を検討。③人材育成・キャリア支援、スマートフォンソフト開発等、多岐にわたっている。④推移を捉え、効果的な施策を展開していく。

検討内容とは。都の「特別支援教室モデル事業」応募への検討を。

答弁 ①都特別支援教育推進計画での支援体制整備も視野に入れ設置を検討。②就学前や小・中学校間の連携等、継続的な支援体制の構築を検討。応募に向けた拠点校選定等の課題を整理。

公明 豊島あつし

特別な支援を必要とする子どもたちへの教育

質問 ①中学校に発達障がいがある生徒の固定学級の設置を。②「新たな特別支援教育の推進体制」の検討を。②区民の移動の実情や移動困難者の調査を。③自転車レーンの整備では、地域住民と道路管理者との協議の場を。

答弁 ①今後、協議すべき項目を検討。②公共交通状況に大きな変化がないことから調査は考えていない。③国や都にも要望。

共産 近藤なつ子

移動困難者対策と総合的な交通対策について

質問 ①地域公共交通会議の趣旨である公共交通の役割を一層高め、バスの利便性を向上させる検討を。②区民の移動の実情や移動困難者の調査を。③自転車レーンの整備では、地域住民と道路管理者との協議の場を。

答弁 ①今後、協議すべき項目を検討。②公共交通状況に大きな変化がないことから調査は考えていない。③国や都にも要望。

み無会 えのき秀隆

危険老朽空き家や荒地への対応について

質問 実効性を担保した空き家対策条例に関して、防犯、防災、景観を保持するといった観点で、区は条例化に向けて調査研究をすべき。見解を問う。

答弁 空き家などの老朽家屋の適正管理に関する他区の状況調査を行っている。条例化については、条例制定自治体の事例や条例制定による効果の検証も踏まえ、研究を行っていく。

自民 下村治生

小・中学生等への救命講習

質問 ①教職員、特に体育教員の履修状況は。②中学生全員に履修させるべき。③小学生にも学齢に応じた講習を。④消防機関と連携し、区民への救命講習の普及啓発を。

答弁 ①小学校は、ほぼ全員が履修済。体育教員を中心に、より働きかける。②検討する。③確実なけがの状況把握、適切な行動を重視した指導を学校に助言。④普及啓発をより一層図る。

公明 野もとあきとし

誰もが安心して生活できる国際都市新宿の構築について

質問 大久保地域について①歩道が来街者で溢れ、特に高齢者や障がい者が安全に通行できない。安全対策を。②11月に5人の方が亡くなる痛ましい火災が発生。防災面の課題認識は。

答弁 ①看板設置等による注意喚起や歩道空間確保の為の是正指導を行う。②避難経路確保の啓発等を早急に行う。道路拡幅や建築物の不燃化等を図る。

公明 中村しんいち

視覚障がい者支援の充実を

質問 ①障がいのある方が、今回の大震災で受けた困難さについての所見は。②中途失明者の心のケアとして、※ピアカウンセラーやゲートキーパー等と連携して、定期的に訪問カウンセリングを行ってはどうか。

答弁 ①災害時要援護者支援プランの中で障害の特性に応じた支援のあり方等を検討。②※ピアカウンセリング制度を周知し、身体障害者相談員制度の中で検討。

議員研修会を開催 テーマ「ゲートキーパー養成講座」

11月29日に、新宿区健康部健康企画・歯科保健担当副参事の白井淳子氏、NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表の清水康之氏、東京都立中部総合精神保健福祉センター副所長の井上悟氏を招いて議員研修会を開催しました。

自殺の実態のほか、自殺対策としての関連団体とのネットワーク強化、区民への啓発、相談窓口の情報提供の重要性等、事例を挙げて説明いただき、区民への救命講習の普及啓発を。

※【ピアカウンセリング】Peer Counseling 『ピア』とは「対等」「仲間」という意味。ここでは、障害を持つ人に対して、同じく障害を持つ人が相談を受け、地域での自立した生活を実現できるようカウンセリングすること。相談に応じる障害者を「ピアカウンセラー」と呼んでいる。

委員会の動き

総務区民委員会

地域センター(10ヶ所)指定管理者の指定などの議案を可決

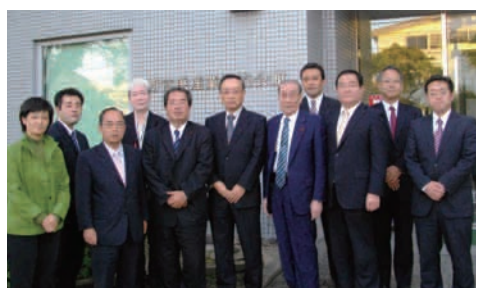
今定例会では、議案24件と継続審査中の陳情1件を審査し、8件の報告を受け質疑を行いました。

●(仮称)四谷保健福祉施設・清掃センター等建設に関わる工事請負契約、(仮称)リサイクル活動センター等建設建築工事請負契約、10ヶ所の地域センターの指定管理者の指定、補正予算等の説明を受け質疑を行い、全員賛成で可決しました。

●「新宿区長等政治倫理条例制定に関する陳情」は、引き続き継続審査としました。

●報告では、訴訟事件4件、(仮称)中村彝アトリエ記念館の整備、外国にルーツを持つ子どもの実態調査等の説明を受け質疑を行いました。

●10月26・27日に地方都市視察を行いました。静岡県浜松市と大阪市では「外国籍住民施策」について、兵庫県西宮市では「被災者支援システム等情報施策」について説明を受けました。本会議では、視察内容に関する多くの発言がありました。


西宮市情報センター

福祉健康委員会

議案審査や私立認定こども園設置基本方針の策定について質疑

今定例会では、議案10件を審査し、2件の報告を受け質疑を行いました。

●「子ども園条例等の一部改正」については、分園方式への反対意見がありましたが、賛成多数で可決しました。

「保育所保育料徴収条例の一部改正」「障害者等の地域生活を支援するための関係条例の整備に関する条例」、百人町地域交流館・児童館と元気館の指定管理者の指定については、全員賛成で可決しました。

障害者のグループホーム建設助成、区民健康センター移転整備等に係る補正予算については、全員賛成で可決しました。

●私立認定こども園設置基本方針策定の報告では、運営主体を学校法人や株式会社に広げる考えに対し、賛成意見や拙速な決定への反対意見がありました。

●10月26・27日に地方都市視察を行いました。山形県酒田市では「がん検診受診率向上の取組み」、秋田市では「子ども条例の制定経過」と「子ども未来センター」について説明を受けました。

秋田市子ども未来センター

環境建設委員会

まちづくり条例の一部を改正する条例等6件の議案を審査

今定例会では、議案6件を審査し、2件の報告を受け質疑を行いました。

●視察を行った「特別区道の路線の認定」と「新宿区景観まちづくり条例の一部を改正する条例」等の議案を審査し、全員賛成で可決しました。

●報告では、「区営住宅の再編整備(仮称)弁天町コーポラス)に係る事業者の決定」等について説明を受け質疑を行いました。

●10月31日・11月1日に環境先進都市である北九州市へ地方都市視察を行いました。「環境モデル都市の取組み」、「北九州市環境モデル都市行動計画におけるリーディングプロジェクト」等の説明を受け質疑を行いました。また、「北九州エコタウン」「環境ミュージアム」「北九州エコハウス」を見学し、関係者から説明を受け質疑を行いました。視察結果を今後の区の環境問題への取組みの参考としていきます。

北九州エコタウン

文教委員会

私立幼稚園の就園奨励費補助金等の増額補正予算を可決

今定例会では、議案5件を審査し、1件の報告を受け質疑を行いました。

●補正予算の私立幼稚園保護者に対する負担軽減補助金・就園奨励費補助金の増額等については、全員賛成で可決しました。

●報告では、東戸山幼稚園の仮園舎を東戸山小学校の校庭に設置することについて、説明を受け質疑を行いました。

●10月26・27日に地方都市視察を行いました。長崎県佐世保市では、最新式のプラネタリウムや総合教育センターを視察し、市の先進的な平和教育の取組みについて説明を受けました。

大阪府寝屋川市では、スクールソーシャルワーカーを活用し、不登校などの問題を抱える児童・生徒に寄り添い、問題を解決している事例等について、説明を受けました。

大阪府寝屋川市

議会運営委員会

本会議の開会時間変更に関する検討事項について

議会・行財政改革特別委員会において、本会議の開会時刻の午後2時を午前10時にすることが望ましく、平成24年第2回定例会から1年程度試行すべきとの調査結果が出されました。

開会時刻が変更されることに伴う議会運営に関する「検討すべき事項」を協議し、請願・陳情の締切日を1日早めること等を議長に報告しました。

防災等安全対策特別委員会

放射能対策、火災事故の再発防止、防災・防犯について

今定例会では、2件の調査事件と5件の報告を受け質疑を行いました。

●放射能対策の現状として、子どもが集まる施設等の高放射線量が予測されるポイントを12月5日から今年度末まで測定することや貸出し予約が殺到している放射線測定機器の台数を1月から1台増やし4台とすること、除染等については、毎時0.23マイクロシーベルト以上の数値が測定された場合、必要な措置を行うこと等の報告を受けました。

●「大久保一丁目火災事故」の再発防止として、12月12日から区が消防・警察と連携して、旧耐震基準で建築された木造共同住宅約610棟の全居住者に対し、避難経路の確保等の啓発を行う旨の報告を受けました。

●今年度の避難所運営管理訓練について、現時点では32ヶ所で、前年度比25%増の5,551人が参加し、訓練内容を工夫していること等の報告を受けました。

自治・地方分権特別委員会

地区協議会の活動総括について

新宿区の10地区協議会は、現中山区政で発足した新宿区特有の組織です。各地区協議会は、地域の実情に合わせて様々な活動を展開しています。

先般制定された「新宿区自治基本条例」には、「地域自治組織を置くことができる」とし、具体的事項は別に条例で定めると規定されています。

当委員会では、地区協議会の活動を総括したうえで、「地域自治組織」のあり方を模索していく議論を行っています。

地区協議会連絡会が11月に行った「地区協議会の運営に関する活動総括」について説明を受け質疑を行いました。「地域自治組織」をめぐる問題については、他の自治体の事例等も学びながら、新宿区らしいものをめざして議論を深めていくことになりました。

本会議の開会時刻等を協議

議会・行財政改革特別委員会

●「本会議の開会時刻」については、午後2時を午前10時にすることが望ましく、平成24年第2回定例会から1年程度試行すべきであることを議長に報告しました。

●「常任委員会の所管の分担及び名称」については、子どもに関する施策の調査は、同じ委員会で行うことが望ましく、そのために、現在、福祉健康委員会の所管である「子ども家庭部」を文教委員会に移管すべきとの意見がまとまりました。移管の時期や委員会の名称については、引き続き議論することになりました。

●今定例会では、新たに陳情1件が付託されましたが、継続審査としました。

皆様から託された 請願・陳情の審査結果

請願・陳情の内容は区議会ホームページをご覧頂くか、議会事務局までご連絡ください。

継続審査となったもの　2件

議会・行財政改革特別委員会

□(仮称)「議員と語ろう新宿区の今と将来」という集会を開いて欲しいという陳情

総務区民委員会

□日本軍「慰安婦」問題への政府の誠実な対応を求める意見書の採択を求める陳情

あとがき

あけましておめでとうございます。

謹んで区民の皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。

今年も区議会を身近に感じていただけるような紙面づくりに努力してまいります。

本紙についてのご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。

編集委員
宮坂　俊文
赤羽　つや子
吉住　はるお
野もと　あきとし
近藤　なつ子
志田　雄一郎
沖　ともみ

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。